

【科学技術】

全国野球連盟、GPS内蔵ボールなど新型野球用具を試験的に導入

ハイテク技術の進化は、今や分進秒歩の勢いだが、このほど開催された全野連の臨時総会で数種類の新型野球用具が実用化にむけ試験的に導入されることが決まった。

新たに使用が認められた製品は、GPS内蔵ボール、手振れ防止機能バット、電動アシスト機能付スパイクシューズなど。

このうちGPS内蔵ボールは、球体の中心部に小型GPSを内蔵することによって、ボールの正確な位置情報を瞬時に把握できる利点があり、きわどいホームランの判定などに苦慮していた審判部が導入を強く求めていた。

また、手振れ防止機能バットは、デジカメなどで使われている技術を応用したもので、打者の手首の動きを高性能センサーが自動的に感知し、悪球に対するスイングを未然に防止するという画期的な製品。

さらに、電動アシスト機能付スパイクシューズには、靴底に強力なマイクロモーターが取り付けられており、おおむね鈍足選手の多いチームから高い評価を受けた。攻守交代の時間短縮にも効果が期待されている。

なお、携帯型音楽プレーヤーを装着した新型ヘルメットについては、試合中の緊張感をやわらげるなど一定のリラックス効果は確認されたが、将来的にデジタル通信機器を使ったスパイ行為への転用が懸念されるため承認されなかった。

その他、高校球児の父母らが強く要望していた洗濯不要の新素材ユニフォームは、撥水・防汚性能に改良の余地があるとして、今回の採用は見送られることになった。

いずれにしても、ハイテク化の波が近い将来の野球界に大きな変化をもたらすかもしれない。

（文責・水野）

【事件防犯】

新手の悪質犯罪、「ばあちゃん甲子園に出るんだよ」詐欺

架空商品の販売などを装った特殊詐欺事件が社会問題となって久しいが、今度は高校球児の孫をもつ祖父母らをねらった新手の詐欺事件が首都圏を中心に多発している。

独自に取材したところ、犯人グループは地方大会の出場者名簿などから個人情報入手し、高校球児になりすまして電話をかけてくるという。

被害者の多くは65歳以上の高齢者で、犯人たちの巧みな話術により自分の孫からの電話と信じてこんでしまったようである。

被害者の女性Yさん(72)の話…そりゃあ、最初は変に思いましたよ。正月に会ったときと声が違っていたんで、どうしたの？って訊いたら、厳しい練習で声が嘎れちゃったていうの。かわいそうでね、すっかり孫だと思いこんじゃったわよ。そしたら、今度の甲子園大会に出場できることになったって。びっくりしたね。私は野球のことなんか、ちっともわからないけど、とにかく御目出度いことなんでしょ。お祝いしてあげなきゃって気持ちで、すぐにお金を振り込んであげたわ。後でわかったことだけど、孫のチームは予選大会の第一試合でコールド負けだって。

詐欺事件に詳しい弁護士の話…これまでは、犯人の身に困ったことが発生したので助けてほしいというケースが多かったのですが、これは、今までとは逆に祝福すべき出来事を報告して被害者をだます手口です。それだけに、これまでより更に巧妙で悪質な犯罪と言えるでしょう。

捜査担当者の話…お年寄りは孫がかわいい。孫のためなら何でもしてあげたい。そんな優しい気持ちにつけこむ犯人たちは絶対に許せません。全力を挙げて捜査しているところです。かならず逮捕します。

現在、各学校の野球部と捜査機関が連携して被害の拡大防止につとめている。（文責・三原）